

全国エコツーリズム大会 in てしかが

National Ecotourism Conference in TESHIKAGA

[エコツーリズムによる地域づくり ～てしかがスタイルのエコツーリズムとは～]

地域人口の減少による域内経済の縮小、さらに観光収入の縮小。マストツーリズムに翻弄された一時代の終焉を迎え、これから持続可能な地域としてどんな町を作っていくのか。エコツーリズムの可能性を探る。



C.W.ニコル氏特別講演
「美しい日本の森から未来を考える」
10/16(火) 18:30～20:00
会場：摩周観光文化センター

平成24年10月15日(月)～17日(水)

てしかが
場所：北海道弟子屈町

川湯観光ホテル ラピユタ/釧路圏摩周観光文化センター/弟子屈町内

主催/てしかがえこまち推進協議会 共催/NPO法人日本エコツーリズム協会(JES)

主管/てしかがえこまち推進協議会エコツーリズム推進部会

後援(予定も含む)/ 環境省・国土交通省観光庁・農林水産省・北海道・弟子屈町・釧路湿原・阿寒・摩周観光圏協議会・釧路観光連盟・ひがし北海道観光事業開発協議会・一般社団法人日本旅行業協会・社団法人全国旅行業協会・社団法人日本観光振興協会・一般財団法人自然公園財団・北海道新聞社・釧路新聞社・読売新聞社釧路支局・日本経済新聞社釧路支局・毎日新聞報道部釧路支局・朝日新聞社釧路支局・NHK釧路放送局・HBC釧路放送局・STV釧路放送局・HTB釧路支社・FMくしろ・弟子屈町商工会・J A摩周湖・社団法人摩周湖観光協会・弟子屈町教育委員会・株式会社弟子屈町振興公社・弟子屈町自治会連合会・てしかが郷土研究会・阿寒国立公園川湯地域運営協会 ※順不同

アクセス

下記を参考の上、直接会場までお越しください

① 飛行機をご利用の場合

会場 弟子屈町川湯温泉	たんちょう釧路空港 大会専用送迎バス(要予約) 10/15「空港発」11時、10/17「会場発」13時 (約1時間30分、片道2,000円) ※10/15迎え、10/17送りのみ運行。 阿寒バス 公共交通機関 空港連絡バス JR釧路駅 ②を参照 約45分 (910円)
	女満別空港 大会専用送迎バス(要予約) 10/15「空港発」13時45分、10/17「会場発」13時 (約1時間15分、片道2,000円) ※10/15迎え、10/17送りのみ運行。 網走バス 公共交通機関 空港連絡バス JR網走駅 ②を参照 約45分 (910円)
	中標津空港 大会専用送迎バス(要予約) 10/15「空港発」14時、10/17「会場発」12時15分 (約1時間20分、片道2,000円) ※10/15迎え、10/17送りのみ運行。

② 列車をご利用の場合

JR釧路駅	JR 釧網本線	路線バス(阿寒バス)	徒歩
約120分 (1790円)	JR川湯温泉駅	10分	5分
JR網走駅	JR 釧網本線	路線バス(阿寒バス)	徒歩
約110分 (1600円)	JR川湯温泉駅	10分	5分

③ マイカーをご利用の場合

札幌 道央・道東 足寄IC R242 足寄市街 R241 R391 自動車道

※10月16日(火)の特別講演会場へは、宿泊プラン施設ご利用の方は(別紙参照)、施設の送迎バスが運行されます。

参加申し込み

参加並びに宿泊などのお申し込みについては「株式会社ツーリズムてしかが」にて承ります。別添の参加申込書に必要事項をご記入の上、E-mailへ添付し、必ず件名を「全国エコツーリズム大会申し込みについて」としてお申込みください。お申し込み用紙は大会オフィシャルサイトでダウンロードできます。※ FAX、TEL でいただくことも可能です。その場合は、必ず件名を「全国エコツーリズム大会申し込みについて」としてください

申込先：株式会社ツーリズムてしかが (左記参照)

申込期限：平成24年10月1日(月)

※ 申込受付後、受付確認および参加費の入金方法についてご案内させていただきます
 ※ 会場までの交通手段は各自で手配してください

参加費について

■ 3日間通して参加いただく場合

基調講演、トークセッション、交流会費、特別講演、分科会含む

- 一般：6,000円/人
- JES会員：5,000円/人
- 学生：3,000円/人 (高校生以下無料)
- 町民：4,000円/人 (高校生以下無料)

※ 宿泊費、エクスクーション参加費は含まれません(別添参照)
 ※ 交流会のみの参加は3,000円/人となります

■ C.W.ニコル氏特別講演会のみ参加の場合

入場料：1,000円/人 ※会場でお支払いください

お問い合わせ

■ 株式会社ツーリズムてしかが 営業時間 9:00～18:00

〒088-3465 北海道川上郡弟子屈町川湯温泉2丁目3番16号
 TEL 015-483-2101 FAX 015-483-3520
 E-mail : e-tabl@tourism-teshikaga.co.jp
 >>オフィシャルサイト <http://www.tourism-teshikaga.co.jp>

■ てしかがえこまち推進協議会

事務局 弟子屈町役場 観光商工課 観光商工係
 〒088-3211 北海道川上郡弟子屈町中央2丁目3番1号
 TEL 015-482-2940 FAX 015-482-5669
 E-mail : masyuko1@masyuko.or.jp

>>大会オフィシャルサイト <http://www.masyuko.or.jp/eco.html>



北海道東部に位置する弟子屈町は、「世界有数の透明度を誇る摩周湖」「今なお噴煙をたなびかせる硫黄山」「日本最大のカルデラ湖の屈斜路湖」など、類まれな地域資源を抱え、たくさんの観光客で賑わいました。

年間数百万人と言われた観光客も、現在は約70万人にまで減少。同様に76万泊だった宿泊数も30万泊を切るようになりました。

地域人口の減少による域内経済の縮小、さらには観光収入に大きく依存してきた地域でありながら、その観光の縮小。**マスツーリズムに翻弄された一時代の終焉を迎え、エコツーリズムへのシフトを進め、持続可能な地域としてどんな町を作っていくのか。**本大会を通じて、こうした課題に立ち向かいます。



開催にあたって



「全国エコツーリズム大会 in てしかが」を、この弟子屈町で開催するにあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。

この大会を開催するにあたり、環境省、観光庁をはじめとする国の機関、地方公共団体、民間機関から多くのご支援、ご協力をいただき、誠にありがたく、心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、この大会は「エコツーリズムによる地域づくり～てしかがスタイルのエコツーリズムとは～」をテーマとして掲げております。

当弟子屈町においては、摩周湖をはじめとする2つの湖、エリアの70%を占める森林、硫黄山などの火山という、他に例を見ない総大な自然環境が大変豊かな地域であり、国内はもちろん世界へ向けてさらに発信するための基盤は十分に備わっていると思っています。

我が国が長年にわたる経済不況から脱却し、再び躍進していくためには、日本経済を支える各地域が、それぞれの特性や地域資源を活かして、さまざまな地域との結びつきを強化しつつ、活発な活動を展開していくことが必要です。

こうしたことから、今大会を契機に当地域のエコツーリズムがさらに振興し、地域経済の再生はもちろん、地域から日本を再構築すべく、そのキックオフとして取り組んでまいります。

てしかがえこまち推進協議会 会長
徳永 哲雄 (弟子屈町長)

特別講演者紹介



C.W.ニコル 氏

作家、ナチュラリスト、財団法人 C.W.ニコル・アフターの森財団理事長。

英国・サウスウェールズ出身。カナダ政府の職員として、北極の動物調査や環境問題にたずさわる。昭和37年、空手修行のため初来日。昭和40~42年カナダ水産研究所北極生物基地で海洋哺乳類動物を研究。昭和44年再来日し、日本大学で水産学を学ぶ。日本の捕鯨に興味を抱き、昭和53年捕鯨基地・和歌山県太地町に移住し、取材をはじめ。その記録をまとめた小説「勇魚 (いさな)」を昭和62年に出版。ベストセラーとなり、一躍有名に。昭和55年には、日本人女性との結婚を機に日本永住権を得て、以後、信州黒姫山麓に住む。平成8年、日本国籍を取得。平成11年、小説「風を見た少年」がアニメ映画化。

主な著書に、小説「ティキシシ」、「バーナード・リーチの日時計」、「冒険家の食卓」、「C.W.ニコルの青春記」などがある。

探検家としても知られ、10数回北極越冬隊長を務めている。空手7段。

10月15日(月) 会場：川湯観光ホテル ラピュタ

- **開会式** 15:00~15:30
挨拶/主催者代表 てしかがえこまち推進協議会 会長 徳永 哲雄 (弟子屈町長)
来賓 北海道知事 高橋 はるみ 様 (予定)
鳥取県知事 平井 伸治 様
環境省自然環境局 局長 伊藤 哲夫 様 (予定)
- **基調講演** 15:30~16:30
テーマ「観光地域づくりとエコツーリズム」
講師/田川 博己 (NPO法人日本エコツーリズム協会 (JES) 副会長、株式会社JTB代表取締役社長)
- **トークセッション** 16:35~17:45
テーマ「てしかがスタイルのエコツーリズムって!?!」
ファシリテーター/石森 秀三 (北海道大学観光学高等研究センター長、同教授、JES 理事)
パネリスト/徳永 哲雄 (てしかがえこまち推進協議会会長、弟子屈町長)
富田 恵 (てしかがえこまち推進協議会 エコツーリズム推進部会)
江崎 貴久 (有限会社オズ海島遊民くらぶ代表、JES 理事)
山田桂一郎 (JTIC SWISS代表、JES 理事、てしかがえこまち推進協議会アドバイザー)
- **交流会** 18:30~20:00

参加費、宿泊については裏表紙をご覧ください

★ 夜は、ツーリズムてしかがの人気プログラム「摩周湖★星紀行」又は「ナイトツアー」をお楽しみください ※参加料2000円/人

10月16日(火)

- **エクスカーション** 9:00~16:00
全5コース/午前の部①9:00~、②11:00~ 午後の部 13:00~ ※詳細は別添参照
- **ツアーAコース** カナディアンカヌーで行く釧路川源流 (午前①14名、②14名 午後14名)
- **ツアーBコース** ふれあいホーストレッキング~湖と森のワイルドコース~ (午前①5名 ②5名、午後5名)
- **ツアーCコース** 強酸性温泉が作り出す、標高150mの高山植物帯に行く (午前①・午後ともに20名)
※日本エコウォーク環境貢献推進機構登録ツアー
- **ツアーDコース** ちょこっと摩周湖トレッキング (午前①・午後ともに20名)
- **ツアーEコース** 川湯温泉さわやかサイクリング (午前①・午後ともに12名)

- **特別講演** 18:30~20:00 会場：摩周観光文化センター
テーマ「美しい日本の森から未来を考える」
講師/C.W.ニコル氏 (作家、環境保護活動家、探検家)

★ 夜は、ツーリズムてしかがの人気プログラム「摩周湖★星紀行」をお楽しみください (会場から合流することもできます) ※参加料2000円/人

10月17日(水) 会場：川湯観光ホテル ラピュタ

- **エクスカーション報告会** 9:00~9:45 ※エクスカーションの評価を報告します
コーディネーター/楠部 真也 (株式会社ピッキオ取締役、JES 理事)
松田 光輝 (知床ネイチャーオフィス代表取締役、JES 理事)
報告者/JES各コース担当
- **分科会** 10:00~11:45 ※分科会報告会(12:00~12:30) 会場：川湯観光ホテル ラピュタ

分科会1 会場：川湯観光ホテル ラピュタ
「自立した地域経済のデザイン」
ファシリテーター/高峰博保 (株式会社森代表取締役、JES 理事)
パネリスト/江崎 貴久 (海島遊民くらぶ代表、JES 理事)
島 康子 (まちおこしゲリラ集団あおぞら組組長)
櫻本 明詞 (てしかがえこまち推進協議会 女性部会副会長)
今井 善昭 (てしかがえこまち推進協議会 アート&アド部会副会長)

分科会2 会場：川湯観光ホテル ラピュタ
「地域資源の保全と活用」
ファシリテーター/松田 光輝 (知床ネイチャーオフィス代表取締役、JES 理事)
パネリスト/田中 敦氏 (国立環境研究所 主任研究員)
堀上 勝氏 (環境省自然環境局総務課 自然ふれあい推進室長)
藤 泰人氏 (NPO法人ましゅうの里理事長)
木名瀬佐奈枝 (てしかがえこまち推進協議会 食文化部会副会長)
萩原 寛暢 (てしかがえこまち推進協議会 人財育成部会副会長)

分科会3 会場：お宿 欣喜湯 2階 会議室
「地域課題解決ビジネスの創出」
ファシリテーター/楠部 真也 (株式会社ピッキオ取締役、JES 理事)
パネリスト/鈴木 謙一氏 (知床オブショナルツアーズ代表)
伊藤 延廣 (裏磐梯エコツーリズム協会会長、JES 理事)
片瀬 志誠 (てしかがえこまち推進協議会 エコツーリズム推進部会副会長)
山本 和之 (てしかがえこまち推進協議会 情報部会副会長)

分科会4 会場：川湯ふるさと館 交流室
「ユニバーサルデザインと観光地域づくり」
ファシリテーター/石森秀三 (北海道大学観光学高等研究センター長、同教授、JES 理事)
パネリスト/林 克郎氏 (一般社団法人日本UD観光協会代表理事)
蔵崎 恒寛氏 (FARMS 代表)
三木 亨 (てしかがえこまち推進協議会 ユニバーサルデザイン部会副会長)
櫻本 浩士 (てしかがえこまち推進協議会 温泉街部会副会長) ほか

- **閉会式** 12:30~12:50
あいさつ/てしかがえこまち推進協議会 会長 徳永 哲雄 (弟子屈町長)
閉会・大会宣言/NPO法人日本エコツーリズム協会 会長 愛知 和男